

# 神のストーリー全体を把握し、理解する

## 神の歴史(His story)を語ることの重要性

●親向けのセミナーでは、教会がいのちを回復するために、「教会にユダヤ的ルーツを取り戻す」というテーマを取り上げたいと思いましたが、短い時間ではとても消化しきれないので、実際的な提言に抑えて放したいと思います。

●**キリスト教の歴史は聖書解釈の歴史**です。聖書をどのように理解し、解釈するかは極めて重要です。今日のキリスト教会は、これまでの聖書解釈においてあらたな改革の波が押し寄せています。私たちの神の教会の始まりは特に教会に対する改革運動でした。しかもかなりラディカル(急進的)でした。聖書によって、人間の作る教会から、神の教会へという改革運動となったのです。これはなにも神の教会だけがそうだったのではなく、キリストの教会など、いろいろな場所で同時に起こった改革運動でした。しかしその時代はまだイスラエルは復興されておらず、今日と比較するならば、聖書におけるイスラエルの理解の重要性は、まだまだ閉じられていました。1948年のイスラエルの復興によって、聖書の解釈の視点の振り子が大きく変化して来たことは事実です。と同時に、そしてイスラエルの復興によって、ヘブル語が復興したことも神の摂理としか言いようがありません。例えば、神の贖い(救い)のご計画はいつから始まったのでしょうか。ヒントは、聖書の冒頭にある「ベレーシート」に実は答えは隠されているのです。

●今回、使徒パウロの第一次伝道旅行のピシデヤのアンテオケ(新改訳2017では「アンティオキア」)での伝道を取り上げ、パウロの説教(13:16~43)に目を留めて見たいと思います。シナゴグの会堂でパウロの説教を聞いた人々は、ユダヤ人とユダヤ教に傾倒している「神を恐れかしこむ方々」(異邦人)でした。

●使徒パウロはピシデヤのアンテオケの会堂(シナゴグ)で、奨励する機会が与えられました。そのとき、彼は神が送られた(遣わされた)イエシュアのこと、すなわち「救いのことば」、「良い知らせ」について語りました。その内容は、**イスラエルの歴史の中で、神がイスラエルの先祖たちに語られた約束についてであり、その約束が実現されたことを語っています**。しかも実にコンパクトにまとめられたストーリーです。おそらくこれはパウロが語った話の概要だとは思いますが、歴史は神の顕現の場であり、約束の実現の舞台です。ですから、歴史を抜きにして神の真実をあかすことはできません。このことから、神の救いに与る者たちが、神を知ることにおいて、またこれからの神ご計画において、イスラエルの歴史を知ることが選択科目ではなく、**必須科目**です。神の救いのご計画の終局に向かっていくこれからの時代においては、イスラエルの歴史とその歴史にかかわる神の働きはますます顕著となっていきます。神の働きの場である歴史の全体像を俯瞰的視点から理解し、把握するためには、どうしてもイスラエルの歴史を学ぶことは必須なのです。

●異邦人が神と出会う時、イスラエルの歴史を知っている者はいません。ですから、自分が抱えている悩みや苦しみを通して、神と出会うことが多いのです。しかし神を信じた後で、歴史においてなされた神のストーリーを学ぶことなしには、信仰の種が芽生えるだけで、根を張ることはできません。信仰の「根を張る」ためにどうしたら良いかを考えなければなりません。その最も効果的な道は、親子共々に以下の二つりことをすることです。

## 1. イスラエルの歴史をしっかりと学ぶこと

●なぜなら、イスラエルの歴史は他の国の歴史とは異なり、神を知るためには、また聖書を読み解いていくためには避けて通れないからです。このような根が張らなければ、簡単に教えの風に吹きまわされてしまいます。自分はユダヤ人ではなく、異邦人だから、イスラエルの歴史は学ぶ必要がないと決して思っていないということです。地道に神の啓示の舞台であるイスラエルの歴史を学び続ける工夫が必要です。

## 2. 幼い時から「聖書物語」を聞かせて育てる

●子どもの頃から聖書のストーリーを聞かせて育てることです。そのためには親がそれを話したり、教えたりする力を養わなければなりません。子どもに教えることを通して、親もまた学ぶのです。これこそ詩篇127篇の「幸いなことよ。矢筒をその矢で満たしている人は」が意味するところです。子どもは主からの賜物です。どんな意味での賜物かといえば、信仰の継承のために、神について共に学び合うことができ、神を深く知ることができるからです。教会はこのことを、クリスチャン・ホームを建設しようと思う若者たちに繰り返し教え込まなければなりません。特に、第一世代のクリスチャン・ホームの親たちの責任は重大です。子どものことから神のストーリー(聖書物語)を知識として知っておくとは、やがて聖書全体から知恵を引き出せるような力を身に着けさせます。すべての事柄が別々の事柄ではなくて、すべてが意味をもって結びついていることを発見するようになります。それこそが「根が張る」ことであり、多くの実を結ばせていくと信じます。